

# やすらぎ通信

第10号 (平成23年9月1日) 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

長月(長夜月)

## 十五夜 お月さん

野口雨情 作詞 本居長世 作曲

十五夜お月さん ごきげんさん

ばあやは おいとま 取りました

十五夜お月さん 妹は

いなかにもらわれて いきました

十五夜お月さん かあさんに

もいちど わたしは あいたいな

季節もぐーっと進みまして、暦の上ではいよいよ秋。学校も新学期が始まり、またお仕事も夏の疲れを落とし心機一転気分を引き締めてという時期を迎えますが、皆様方この夏はいかがお過ごしだったでしょうか。このようにお尋ねしましても、「まだまだ今月いっぱい残暑が続くから夏が終わった気にはなれない」とのお声が聞こえてきそうです。

しかし、季節は確実に移り変わりつつあります。一番そのことを実感するのは、虫の鳴き声ではないでしょうか。「ちろちろりん ちろちろりん」「ころころりん ころころりん」と。そうですコオロギの声です。コオロギは、残暑もものとせず、立秋をすぎればあちこちの畑などで、日が暮れると鳴き始めます。小さかった頃、このコオロギの声を聞きはじめると「楽しかった夏休みもいよいよ終わりか」となんだかもの淋しい気分になったものです。

### 片耳は蟋蟀に貸す枕かな

#### (七代目三笑亭可楽)

七代目可楽は半世紀以上も前の落語家であり。また俳句を嗜む粋人であったようです。初秋の頃、うちわを片手に、うとうととしながら、開け放した縁側の片隅から聞こえてくるコオロギの音色に聞き惚れて寝付けなかったのでしょうか。なかなか季節情緒溢れる句です。現代のように締め切った部屋でクーラーをつけてというなかでは、なかなか味わうことができません。

今日文明の利器が進みすぎて、われわれが失ったものも多そうです。季節感、季節の情緒、自然との語らいなどなど。どちらが、人間にとって幸せなのかと誤ってしまいそうですね。

さて、先月号でも予告しましたように、11月5日(土)に今年も相愛大学との連携シンポジウムを開催しますが、今年は相愛大学と同じく包括連携協定を結んでいる森ノ宮医療大学にも参画していただき三者連携シンポジウムとして実施することになりました。テーマは、「生と死を考える(2)ーやすらぎのがん医療ー」です。

今回は、緩和ケアや終末期医療も含め、全人的医療の視点にたち、「やすらぎのがん医療」とは何か、それは可能なのか等について、宗教者、東洋医学関係者をも交えたシンポジウムを開催し、ともにこの問題について考えていただこうと企画しました。そのシンポジウムの告知をポスター(地下鉄・公共機関)、チラシ等で今月から行います。

また、合わせまして昨年に引きつづき相愛大学との連携事業「糖尿病予防セミナー」も11月12日(土)に行います。こちらからも今月から告知を行います。

申し込み開始は10月3日(月)からですので、ご関心のある方は、是非ご応募ください。

## NEWS

### 【(新) 大阪府立急性期・総合医療センター×相愛大学×森ノ宮医療大学連携 シンポジウム 生と死を考える(2) —やすらぎのがん医療—】

日 時 11月5日 午後1時～5時

場 所 当センター3階講堂

内 容

基調講演 相愛大学人文学部教授 釈 徹宗

「日本文化から見た<sup>いのち</sup>生命のやすらぎ」

関連講演 森ノ宮医療大学保健医療学部教授 坂出 祥伸

「東洋医学の身体観、人間観」

当センター副院長 田中康博

「終末期医療の課題と展望」

パネルディスカッション

「やすらぎのがん医療の実現に向けて—課題と提言」

(パネラー)

当センター小児外科部長 (緩和ケアチーム長)

吉田 洋

当センター精神科病棟看護師長 (緩和ケアチーム看護師長)

嶋路 紀子

森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科教授

山下 仁

相愛大学人文学部客員教授・大蓮寺住職

秋田 光彦

当センターがん患者会 (ひまわりの会) 会長

山田 義美

(コーディネーター)

毎日放送

大谷 邦郎

申込み (先着 200 名)

専用電話 06-6692-2222 または

当センターホームページ「セミナー申込み」から

申し込み開始は10月3日(月)からです。

## 【(新) 大阪府立急性期・総合医療センター×相愛大学連携・糖尿病予防セミナー】

- 日 時 11月12日(土) 午後1時30分～3時30分
- 場 所 当センター3階講堂・渡り廊下、保健教室等
- 対 象 先着200名
- 内 容 (1) ミニ講座 当センター糖尿病代謝内科主任部長 馬屋原 豊  
当センター栄養管理室管理栄養士 山根 泰子
- (2) 相愛大学学生と教員が考えた体験学習コーナー  
今年のテーマ<もっと野菜を食べよう>  
体験学習1：食育SATシステムによる食事診断  
体験学習2：血糖値測定  
体験学習3：身体計測 (In Body430)  
体験学習4：野菜コーナー (野菜クイズ・野菜の量や料理の展示)  
体験学習5：糖尿病関連パネル展示  
体験学習6：糖尿病を予防する食事
- (3) 個別相談  
当センター医師、看護師、栄養士
- 申込み 専用電話 06-6692-2222 または  
当センターホームページ「セミナー申込み」から  
申し込み開始は10月3日(月)からです。

## 【(再) 甲状腺外科外来を開設しました 一耳鼻咽喉・頭頸部外科一】

このたび、耳鼻咽喉・頭頸部外科では、甲状腺外科外来を開設いたしました。今後甲状腺外科の検査・治療の窓口として院内外からの診察依頼を幅広く受け付けます。

甲状腺疾患の患者さんを対象に、即日超音波検査(細胞診を含む)と血液検査を行い、速やかに診断を行います。

外科的な治療が必要な場合は手術治療を行います。

さらにバセドウ病や悪性甲状腺腫に対して、I-131によるRI治療が必要な場合も、画像診断科、放射線治療科と連携して治療を行います。

内科的な投薬治療を行う場合は、糖尿病代謝内科と協力して診療を行います。慢性期の疾患の場合は、地域のクリニックをご紹介させていただきます。

開設日 月・水・金の午後

お問合せ先 耳鼻咽喉・頭頸部外科 主任部長 坂田義治

## 【(再) 皮膚良性色素性疾患用の最新式のレーザー装置が導入されました

### —形成外科—

4月から、従来使用していましたがQスイッチ付きアレキサンドライトレーザーに代わり、最新式のQスイッチ付きルビーレーザーを導入いたしました。

対象疾患は、Qスイッチ付きアレキサンドライトレーザーとほぼ同じですが、従来保険適用であった太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着に加え、以前から治療要望が多かった扁平母斑も保険適用になりました。

また、保険適用はありませんが、一般に「しみ」と呼ばれる色素班の中でも老人性色素班等（肝斑は効果はありません）はこのレーザーに良い適応があります。

お気軽にご相談ください。

なお、レーザー治療は毎週月曜日の午前中に行っていますが、完全予約制となっております。事前に一度当科外来をご受診のうえで、予約を取っていただき、専門医の診察・治療をお受けいただくことになります。

## 【(再) 相愛大学生が、ボランティアで小児科病棟に】

先月15日から、相愛大学人間発達学部子ども発達学科の4回生が、小児病棟で子どもたちの遊び相手として、読み聞かせの”お姉さん“”お兄さん“としてボランティア活動を行っています。

これは、昨年に引き続くもので、子供たちの笑顔と喜びの声の小児科病棟にいっぱいあふれています。

(ボランティア) 相愛大学人間発達学部子ども発達学科4回生

(活動期間) 8月15日(月)～9月末

## 【(再) 診察予約変更センター設置—6月から11の診療科において診察の予約日・時間の変更が電話でできるようになりました!】

当センターでは、6月から11診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しました。

これは、当センターが進めています「患者さんにとって利便性の高い病院づくり」の一環として導入整備したもので、急な用事や体調変化で予約された日時に診察のために来院できなくなった場合に、電話で日時の変更ができるサービスをご提供するものです。

予約変更を電話でできるのは、以下の診療科です。是非、積極的にご活用ください。

なお、このサービスは初診に関しは行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして  
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 内科・呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科 整形外科  
免疫リウマチ科 皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科  
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

### 【(再) 入院治療費の概算を予めお知らせすることを始めました】

昨年度実施しました患者満足度調査におきましては、入院時にいくら程度医療費がかかるか事前に教えてほしいというお声が多く寄せられました。

このため、当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター(やすらぎセンター)を5月から整備したことに合わせまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを開始しました。

お知らせの方法は、当面、患者さんにお渡しする「患者さん用クリティカルパス(治療計画書)」の中に記載してお知らせする診療科と、口頭でお知らせする診療科に分かれますが、最終的にクリティカルパスに記載する方法に統一をすることになっています。

### 今月の催し

#### 【(新)府民公開講座一口の中のがんー】

口の中にできるがんを総称して「口腔癌」と呼んでいます。今回の講座では、口腔癌になりやすい病気や、口腔癌の治療方法などについてご紹介致します。

日 時 9月10日(土) 午後1時30分～3時(午後1時開場)

場 所 本館3階講堂

講 師 当センター歯科口腔外科診療主任 山田 龍平

申込み 当日受付(先着100名)

#### 【(新)日本の大道芸 南京玉すだれと皿回しがやってきます!】

ー “アさて さてさてさて さては南京玉すだれ”のおなじみのリズムに合わせて  
皆さんと一緒に楽しみましょうー

日 時 9月15日(木) 午後2時～2時30分

場 所 本館1階アトリウム(談話室でハプニングタイムあり)

出 演 南京たますだれ・皿回し一座

## 【(新) 第2回やすらぎ寄席】

### — 桂 かい枝 落語会 —

日 時 9月26日(月) 午後2時～  
場 所 3階講堂  
出 演 平成6年に5代目桂文枝に入門。上方落語の爆笑派として次世代を担う  
実力と人気を兼ね備えた今注目の噺家。英語落語も得意で、舞台以外に  
も教育テレビをはじめラジオで活躍中の**桂かい枝**の独演会  
主 催 万代やすらぎ亭 (入場無料)

## 【(継) 大好評!!】

### 相愛大学連携・外来糖尿病教室～知って得する! 糖尿病の付き合いかた～】

日 時 9月21日(水) 午後2時～4時30分  
場 所 本館1階アトリウム  
内 容

(1) 糖尿病の合併症～しめじとえのきって何?～

糖尿病代謝内科 藤田 洋平

(2) 検査値で知るあなたの状態

臨床検査科検査技師 入汐 弘美

(3) 食品表示見えていますか!?

栄養管理室管理栄養士 笠井 香織

午後1時から相愛大学学生、教員による食育SATシステムによる食事診断も合わせて実施

## 【(継) 今月の すこやかセミナー】

### (1) あなたの血管年齢は!

日 時 9月8日(木) 午後2時～3時  
場 所 3階保健教室  
講 師 臨床検査科  
検査技師 前川 弘子

### (2) 股関節が痛いと感じたら

日 時 9月30日(金) 午前11時～12時  
場 所 3階保健教室  
講 師 整形外科副部長 原口 圭司

(参加費無料)

## 【(継) 現代美術空間—病院ギャラリー 第4回企画展—開催】

「やすらぎの木版作家—浅野竹二

初期情景版画展—新京名所と新大阪風景」

日時 平成23年12月22日(木)まで

場所 本館2階ギャラリー (入場無料)

浅野竹二は、1900年京都生まれ。京都市立絵画専門学校で日本画を学んだ後、油絵を始めますが、再び日本画を描き始め、日本画家として活躍します。1930年頃からは、木版画の制作を始め、写実的な「名所絵版画」を制作する一方で、自由に自分の感性を表現した『創作版画』を制作し、大胆なフォルムと色彩で構成されたユーモア溢れる作品を発表しました。

今回の企画展では、このような浅野竹二の作品の中で、初期(1930年代初め)の作品の「名所絵版画」の中から新京名所と新大阪風景を取り上げました。

なお、本作品展は、大阪府立現代美術センターのご協力で開催しております。

## 【(継) 予告：第3回やすらぎ寄席—講談の会】

日時 11月29日(火)午後2時～

場所 本館3階講堂

出演 女流若手講談師 旭堂 小二三

主催 万代やすらぎ亭

(入場無料)

## Topics

### 【(新) PET-CTの整備に着手！】

かねてよりお知らせしてきましたPET-CTにつきましては、先月競争入札の結果日立メディコ株式会社に整備事業者が決定し、このたび整備に着手しました。

竣工は3月になる予定ですが、この機器の整備により、がんの診断機能が一層強化され、また地域の開業医の先生方からの検査依頼にもお応えできるようになるなど、これまで以上に南大阪地域のがん拠点病院としての役割を果たしてまいります。

### 【(継) 新名所：やすらぎのプロムナード—北側通路周辺—】

当センターでは、「やすらぎの医療空間」づくりの一つとして、本館と中央館の連絡通路から北側に伸びた通路周辺の緑地の再整備を行い、患者さんやお見舞いの方などに“緑の憩いの空間”を楽しんでいただいております。



ベンチや丸テーブルでタリーズのコーヒーやえびすカレーのテイクアウトを持ち込んでランチを楽しんでおられる方も多くみられます。

これから木々の色は秋色に徐々に染まり、美しく落ち着いた空間を楽しんでいただけるものと思っております。

是非、お立ち寄りください。

## 今月のコンシェルジュ

### 【(新) コンシェはどんな人？－サブリーダー合田さんの巻－】

今月は、サブリーダーの合田さんの登場です。

#### 合田サブリーダー

「私が当センターに勤務してから8月で早1年が過ぎました。コンシェルジュとしての仕事は5年経ちました。私が、常に心に留めている言葉は、「一期一会」です。

千利休のお言葉らしいのですが、『このひとときは二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。だからこの一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをしま

しょう<sup>イコール</sup> = 二度とは会えないかもしれないという覚悟で人に接しなさい』という意味があるそうです。

私は、まだまだ千利休のようにはいきませんが、少しでもいい印象として患者さんのお心に残るように接していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。」

## その他のお知らせ

### 【(継) やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページからアドレスを登録していただきますようお願いいたします。

なお、ホームページのご検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

### 【(継) 医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。

なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

当センターは、当センターが

「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」

となるよう日々努力をしています。